

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

求められる文系、理系の枠を取りはずした人材 柳川 範之 (東京大学大学院教授)

1. 技術革新は産業の構造を大きく変える。少し前まではごく一部の人しか知らなかった金融と IT の融合分野を意味する「フィンテック」という言葉も、今やすっかり流行しマスコミでもしばしば登場する。これからのイノベーションは、既存の産業の枠を超えたところから起きる。しかし、規制やルールなど産業ごとの縛りが強すぎると、そのイノベーションの足かせとなりかねない。グローバル競争が激しくないうちはよかった。イノベーションが横並びでどの企業にも起きなければ、誰にも負けることがなかった。
2. しかし、グローバルな競争が生じると、規制の足かせの差がそれぞれの企業のイノベーションの対応力の差となって表われてしまう。革新を阻害しないように縦割りの枠を絶えず見直していく必要がある。
3. また、大きな構造変化が生じるのは、フィンテックのように今、目の前で変化が起きている産業だけではない。どの産業でも大きな横変化が起きうると考えるべきだ。そのためには、より広範囲な発想転換も求められる。たとえば、文系、理系の縦割り。今や必要とされているのは、経営や金融の知識とテクノロジーやコンピューターに関する知識の両方を有した人材であろう。文系、理系というくくりを外し、両者をまたぐ人材を育成するのも喫緊の課題だ。

(参考:「週刊東洋経済」2015年10月3日号)

経営者のための営業学

平凡に単純に考える

鈴木 敏文 (セブン&アイ・ホールディングス 会長・CEO)

1. 私はずっと、「変化対応」と言い続けている。時代は変わるものだ。戦争の前後で考え方も教育も変わったということを実際に痛感した。いい悪いはともかく、変化に対して自分たちも変わっていかなければ倒れてしまう。企業も同じだ。規模が変われば、組織のあり方も変わってくる。変わるのだから、過去と同じ考え方、同じ手法で通すことはできない。
2. お客様の立場に立つというのも不変の真理だ。自分の経験の範囲内だけで考えていたら絶対に発展しない。セブン銀行を作った時も同じ。銀行の営業時間は平日の午後3時まで。週末は休み。金をおろしたりするのはきっと不便だろう。だから24時間使えるATMをやれば成功するだろうと考えただけ。難しく考えない。平凡に、単純に考えればいい。

(参考:「日経ビジネス」2015年10月5日号)

経営者のための危機管理

イトーヨーカ堂の大量閉鎖

1. セブン&アイ全体では、セブンイレブンの好調さを背景に、2015年3~8月の連結営業利益は過去最高を更新したもよう。だが、傘下の総合スーパーイトーヨーカ堂単体では営業赤字に陥っている。鈴木敏文会長は、ヨーカ堂に対して、長年にわたって改革を迫ってきたが、思いは浸透せず業績は低迷、業を煮やしついに決断を下す。全国で展開する181店舗の2割に当たる40店の閉鎖を決めた。
2. セブン&アイによれば、まず2016年2月中に数店を閉鎖、2020年2月期まで毎年10店前後のペースで閉めていくという。今回の決断の背景には、総合スーパーの苦境がある。大型店舗で、食品から衣料品、住関連商品まで幅広く品ぞろえを武器にしていたGMSは、ユニクロや家電量販店といった専門店に押されて市場の縮小が止まらない。流通業界では独り勝ちのセブン&アイとはいえ、営業利益の8割はセブン&アイが稼ぎお荷物の事業は少なくなかった。

(参考:「週刊ダイヤモンド」:2015年10月3日号)

古典に学ぶ

上杉鷹山 (1751年~1822年) の経営改革 (その4)

(解説) 上杉家は非常に多くの武士を抱えていた。ところが、彼らは何もしておらず、今でいえば社内失業者、ないしは全く不要な人間であった。そこで鷹山はまず、この遊休労働力を生産労働力に転化しなければならぬと考えた。そんなとき、江戸の藩邸が火事になった。すぐに建て直さねばならないが、その費用が捻出できない。彼はこの武士たちを運材夫に使うという画期的な方法を試みた。つまり、労働に使ったわけである。

(参考:山本七平「指導者の帝王学」:PHP)